

壁紙施工要領書

自然素材 〈シラスクロス〉

【該当商品】

(2023-2026WILL)

LWT-393・394

■特長

- ・南九州のシラス台地のシラスを活かした自然素材の壁紙です。
- ・自然素材の壁紙のため、色柄やジョイント部の色差、表面素材の脱落が発生する場合がございますので、ご了承ください。
- ・擦れによりキズや剥がれがおきやすく、補修が難しい素材です。摩擦にご注意ください。
- ・天井高が高い壁面への使用は避けてください。施工時に糊の水分を吸って重みで破れやすくなります。

■下地調整

- ・商品厚が薄いので下地の不陸を拾いやすく、したがって入念な下地調整が要求されます。できるだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- ・下地面に汚れやチョーク等による文字などが残っている場合は除去するようにしてください。
- ・パテは下地と同色の樹脂入りのものを使用してください。強度の弱いパテは剥がれの原因になります。
- ・張替え時には、下地面に残った残紙を剥がしてください。
- ・接着性の悪い下地（ケイカル板等）には、必ずシーラーを塗布してください。下地を補強し壁紙の剥がれ、目開きを防止します。

■接着剤と養生・オープンタイム

- ・接着剤は、原液タイプをお勧めします。
- ・接着剤塗布後は、うませ時間を5～15分程度、施工可能時間は20分以内を目安に作業を進めてください。
- ・夏場など気温が高い時期は乾燥が早くなり相剥ぎしやすくなりますので、うませ時間は短めにしてください。

【壁紙施工要領書 -自然素材 〈シラスクロス〉 -】

- ・接着剤塗布後はタタミジワ、折れジワを防ぐために大きくたたみ、上積みは避けてください。

■張り付け・ジョイント

- ・目開きしやすい商品のため、ジョイントは必ず重ね断ち施工をしてください。
- ・ジョイントが目立ちやすく表面素材も硬いため、カッターは薄刃のものを使用し、こまめに替えて常に鋭利な状態で使用してください。
また、重ね断ちを行う場合は下地まで切り込まないように下敷き等を使用してください。
下地まで切り込むと目開きの原因となります。
- ・刷毛を使用すると表面素材が脱落しやすくなります。なで付けはプラスチック製ヘラをかせて使用してください。
- ・ローラー跡が残りやすいため、ジョイントはウレタン製のものを使用し、強く押さえすぎないようにしてください。

■施工後

- ・施工後は、外気や冷暖房などによる急激な室温の変化を避けるようにしてください。目開きやハガレ等の原因になります。

■汚れについて

- ・接着剤、手垢等、汚れを拭き取ることは困難です。付着しないようご配慮ください。